

東北大学災害復興新生研究機構
 —今後の進め方について—

本機構は、東日本大震災の被災地域における中核大学として、被災からの復興・地域再生を先導する研究・教育・社会貢献等に戦略的・組織的に取り組み、その成果を社会に発信し、及び実践することにより、本震災の被災地域の再生に寄与するとともに、災害に係る課題を解決する新たな価値創造を図り、もって人類に共通する災害復興問題への貢献を通じて人類社会の発展に資する。

【基本理念】

- ❖ 理念1 復興・地域再生への貢献
 これまで経験したことのない大震災からの復興・地域再生に被災地の知の拠点として貢献
- ❖ 理念2 災害復興に関する総合研究開発拠点形成
 東北・日本のみならず、災害復興を目的とした総合研究開発のための世界的COEを形成
- ❖ 災害復興に貢献するためには、これまでの部局の枠にとらわれない横断的な研究組織で課題解決型のプロジェクトを形成し、戦略的・組織的に取り組むことが必要

【機構の機能】

- ❖ 機構コミットメント型プロジェクトの推進
 - 政策的に重要な研究課題に関するプロジェクトの企画・推進・管理
- ❖ 構成員提案型プロジェクト（復興アクション）の推進・支援
 - 本学構成員が自発的に取り組むプロジェクトの情報集約・支援

【組織】

- ❖ 機構長（総長）
- ❖ 運営委員会（部局長等） *当面（兼）部局長連絡会議
- ❖ 運営幹事会（理事・副学長等） *当面（兼）運営企画会議
- ❖ 企画推進室（◎室長、○副室長）
 - ◎原 理事 プロジェクト企画推進及び総合調整
 （総長特別補佐、コーディネーター／総長室・財務部）
 - 伊藤理事 災害復興に関する世界的COE形成推進（研究協力課）
 - 数井理事 復興・地域再生推進（産学連携課）

【企画推進室の業務】

- ❖ 政策的重要テーマ（プロジェクト）を先導的に企画・推進
- ❖ 産学連携計画重視型（大型）共同プロジェクト企画・推進
- ❖ すでに収集した社会貢献情報をベースに、復興アクションの整理と支援計画の立案・実施
- ❖ 学内ファンディング調整（総長裁量経費配分（案）作成を含む）
- ❖ 各種情報集約と発信（パンフ作成、ホームページの充実）
- ❖ 機構主催の報告会、シンポジウムの企画・実施
- ❖ プロジェクトの進捗管理
- ❖ 総合調整

【プロジェクト】

- ❖ 現在のプロジェクトは、概算要求・補正予算等の検討の中で先行的に組織化されたもので、機構に置くプロジェクトは、今後の復興に向けた取組の中で随時追加・編成される。
- ❖ 機構に置くプロジェクトは、自律的（自立的）運営を基本とするが、プロジェクトリーダー会議等を通じて復興推進のために相互の連携を強く図る。

- ① 災害科学国際研究推進プロジェクト
- ② 地域医療再構築プロジェクト
- ③ 環境エネルギープロジェクト
- ④ 情報通信再構築プロジェクト
- ⑤ 東北マリンサイエンスプロジェクト
- ⑥ 地域産業復興支援プロジェクト
- ⑦ 復興産学連携推進プロジェクト
- ⑧ 放射性物質汚染対策プロジェクト